



Revs Your Heart

統合報告書 2024 2023年12月期



2024年12月期 第2四半期

決算説明会

2024年8月6日

ヤマハ発動機株式会社 (証券コード：7272)

統合報告書2024を発行

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/integrated-report/integrated2024/>



2024年12月期 第2四半期決算

代表取締役社長

日高 祥博

取締役

設楽 元文

業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

当社は2024年12月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたしました。
そのため、次ページ以降は2023年・2024年ともにIFRSに基づき作成しております。

実績

増収・増益

- 売上収益 1兆3,484億円（前年比 110%）・営業利益 1,544億円（同 109%）
- 二輪車：プレミアムモデル販売増加により増収増益
- マリン：船外機の出荷減少、生産調整の影響により減収減益
- ロボティクス：生成AI需要増加もマウンターの販売減少、経費の増加により減収減益

今後の展望

外部環境

- 物価・金利上昇や為替動向など外部環境は不透明な状況
- 各社供給改善等による競争環境の激化
- 海上運賃は上昇傾向、原材料は為替影響を除き概ね計画通り

当社事業

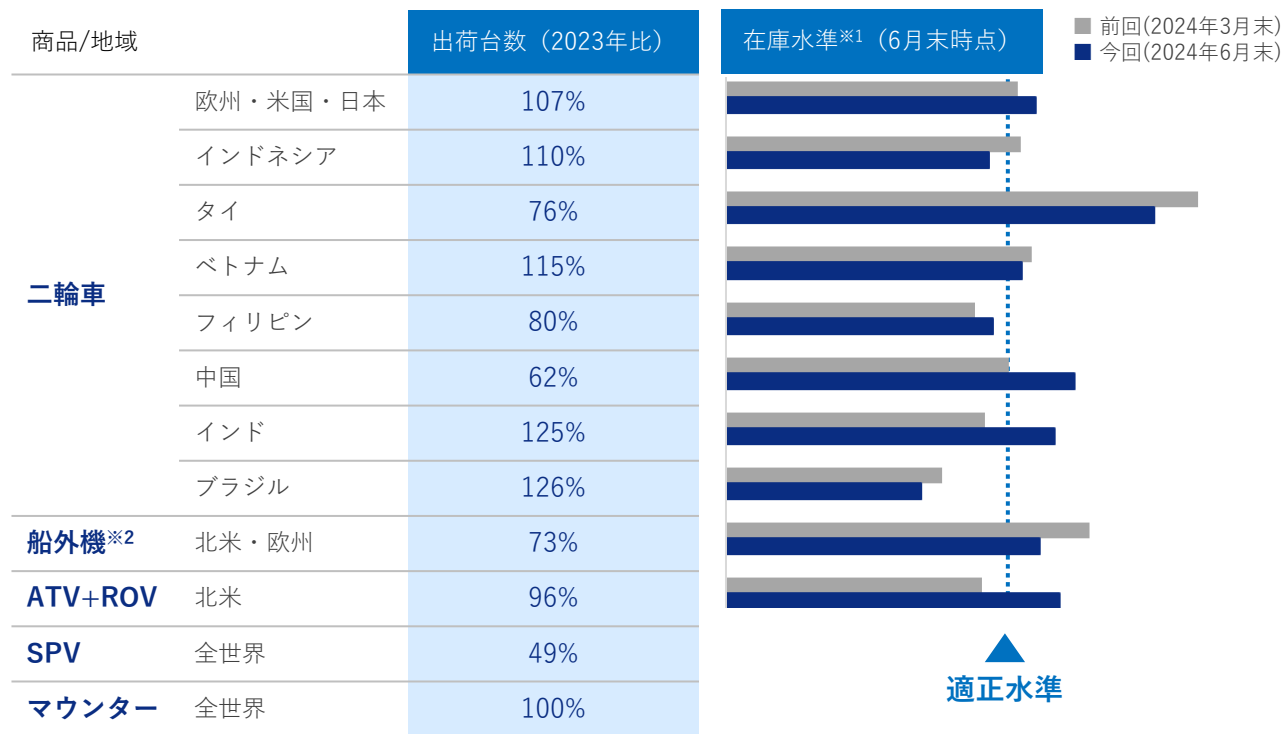
- 二輪車は引き続き好調もRV、SPVの在庫調整にともなう減産が継続
- 船外機は新モデル好調継続も欧米を中心に需要減少
- ロボティクス市場は下期の需要回復を見込む

収益力強化

- 製造・販売コストのコントロールと生産効率改善の取り組み強化
- 価格競争と一線を画したプレミアム戦略の推進
- 赤字事業の事業構造改善

主要商品別 当社出荷台数・在庫（上期実績）

ブラジル・インド・インドネシアは好調継続。ベトナムは底打ち
適正在庫を上回る地域・商品に対しては、生産調整を計画



※1：流通在庫より算出（二輪車・ATV+ROVは見通し、船外機は過去実績）

※2：在庫水準は米国のみ

二輪車事業が牽引、円安のプラス影響もあり増収・増益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比	2024年 当初計画
売上収益	12,264	13,484	110%	26,000
営業利益	1,415	1,544	109%	2,600
営業利益率	11.5%	11.4%	-0.1 pts.	10.0%
当期利益 ^{※1}	1,033	1,131	109%	1,750
EPS (円) ^{※2}	102.01	114.85	113%	178.33
(\$/€)	135/146	152/165	—	140/150

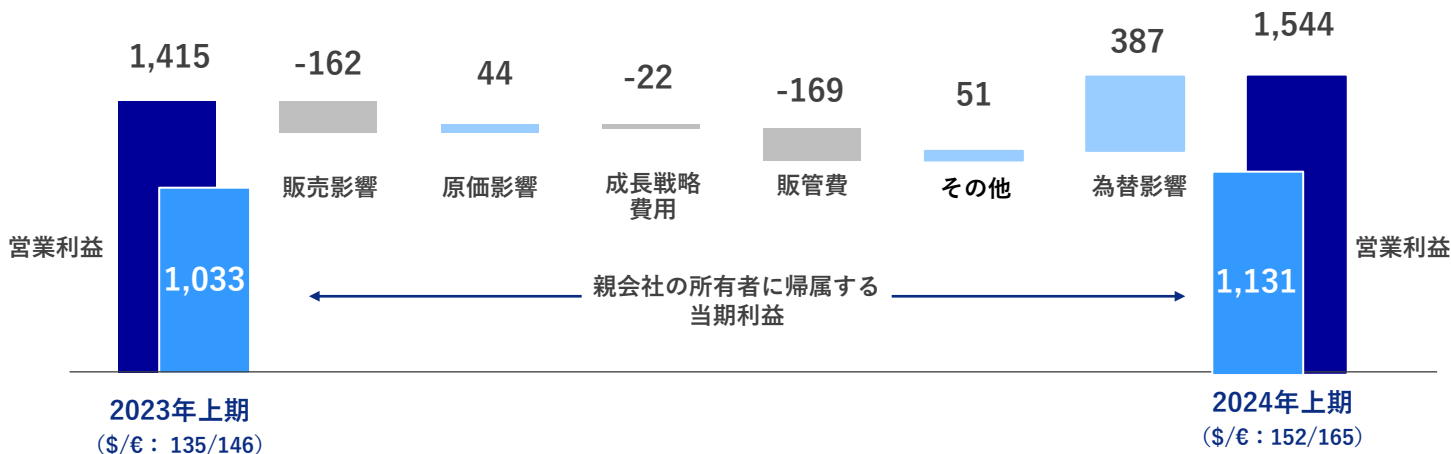
※1：親会社の所有者に帰属する当期利益

※2：当社は、2024年1月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しました。EPSは株式分割後の自己株式を除く発行済株式総数をもとに計算しています。また、自己株式の取得終了に伴い、2024年当初計画を176.49円から178.33円へ修正いたしました。

2024年上期 営業利益変動要因

コストダウン活動と為替影響により増益

(億円)



販売影響内訳

規模増減	-5	プライシング	25
その他	-432	未実現利益	212
		金融サービス	37

原価影響内訳

コストダウン	79
コストアップ	-35

販管費内訳

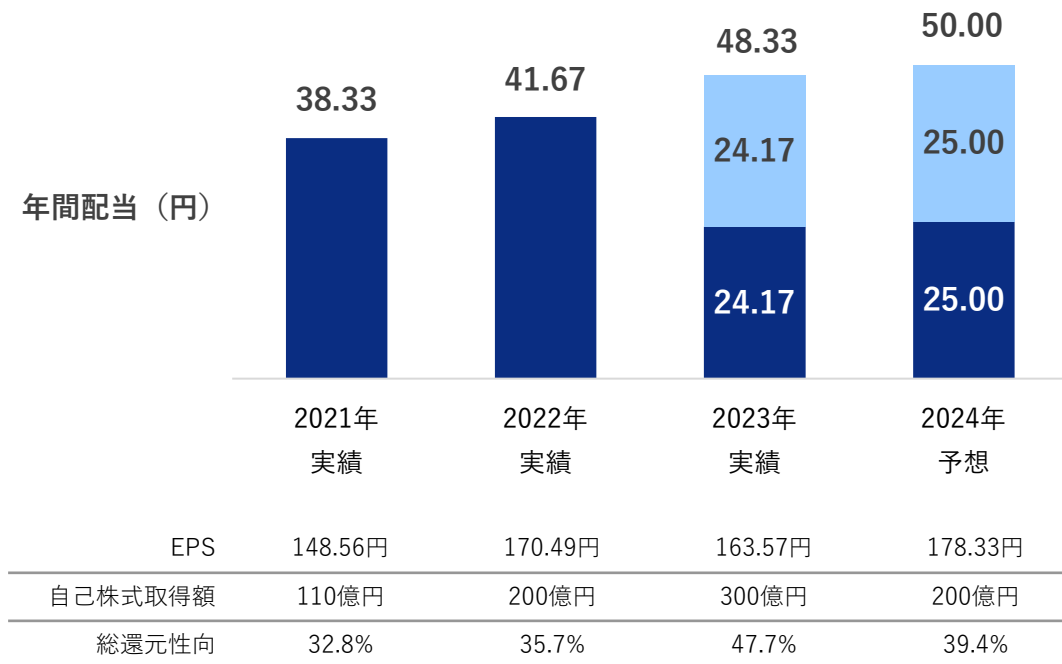
人件費	-122
物流費	-16
営業費用	-23
その他	-9

その他内訳

持分法投資損益	-13
その他	64

2024年は中間配当25円。年間配当50円を計画

一株当たり配当金



当社は、2024年1月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しました。EPSは株式分割後の自己株式を除く発行済株式総数をもとに計算しています。また、自己株式の取得終了に伴い、2024年予想のEPSおよび総還元性向を修正いたしました。

事業基盤強化の取り組み

「Yamaha E-Ride Base」をオープン

首都圏での人材確保および先進技術開発・
新事業探索の加速に加え、
ブランド発信力を強化



展示イメージ



試乗イメージ

[横浜のショールーム「Yamaha E-Ride Base」をオープン \(yamaha-motor.com\)](http://yamaha-motor.com)

カーボンニュートラルの取り組み

水素エネルギー実証施設を新設



実証施設イメージ

[水素エネルギー実証施設を森町工場に新設 \(yamaha-motor.com\)](http://yamaha-motor.com)

マングローブ植林プロジェクト開始



参考：シルポ-フィッシャリー型植林イメージ

[インドネシアにおけるマングローブ植林プロジェクトを開始 \(yamaha-motor.com\)](http://yamaha-motor.com)

© Yamaha Motor Co., Ltd.

事業別説明

2024年上期 事業別 売上収益・営業利益

売上収益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
ランドモビリティ	7,975	8,961	112%
(内) 二輪車	7,093	8,244	116%
(内) RV	633	523	83%
(内) SPV	249	194	78%
マリン	2,990	2,977	100%
ロボティクス	462	459	99%
金融サービス	385	559	145%
その他	452	529	117%
全社	12,264	13,484	110%

営業利益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
ランドモビリティ	679	907	134%
(内) 二輪車	602	1,030	171%
(内) RV	61	-67	-
(内) SPV	16	-56	-
マリン	659	532	81%
ロボティクス	5	-40	-
金融サービス	66	108	163%
その他	6	36	574%
全社	1,415	1,544	109%

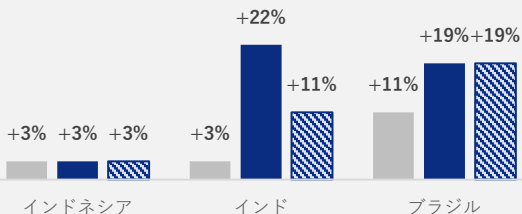
(\$/€) 2023年 (135/146) 2024年 (152/165)

- 実績：価格転嫁効果、プレミアムモデルの供給改善により増収増益
- 年間見通し：ブラジル・インド・インドネシアが牽引し、当初予想を上回る

一市場一

総需要前年比

■ 2024当初予想 ■ 上期実績 ■ 2024 7月見通し



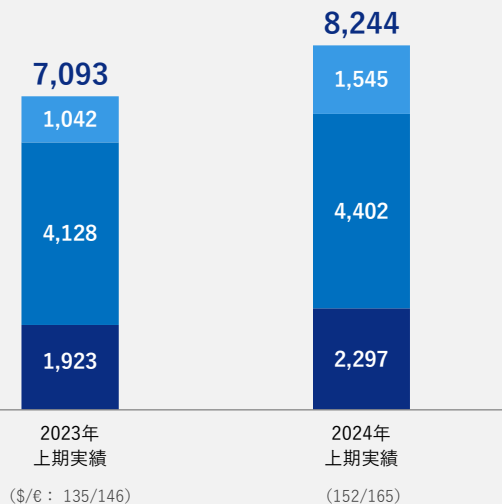
営業利益率

8.5%

12.5%

売上収益 (億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他



一当社一

実績

- 先進国は米国、新興国はブラジル、インド、インドネシアを中心に出荷台数増加
- プレミアムモデルの販売増加により収益性改善

見通し

- 需要が増加しているブラジル、インドが牽引
- インドネシアは安定的に推移

NMAXの新モデルをインドネシアで発売

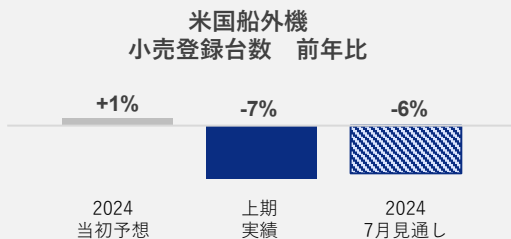


SE **MAX** IN DI DEPAN
YANG LAIN BARU NGE GAS
KITA UDAH **TANCAP GAS**

NMAX

- 実績：船外機新モデル好調も需要減少、在庫調整にともなう減産の影響により減収減益
- 年間見通し：需要減少や生産調整の影響により下期も弱含み

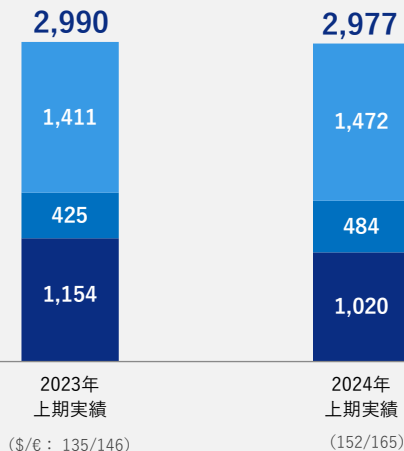
一市場一



営業利益率 **22.0%** **17.9%**

売上収益 (億円)

■ 船外機・北米欧州 ■ 船外機・その他
■ WV・ボート等



一当社一

実績

- 船外機は新モデル好調も欧米を中心に減少
- WVは需要減少しているものの当社販売は前年より増加
- 第2四半期より電動推進機メーカーTorqeedo社連結

見通し

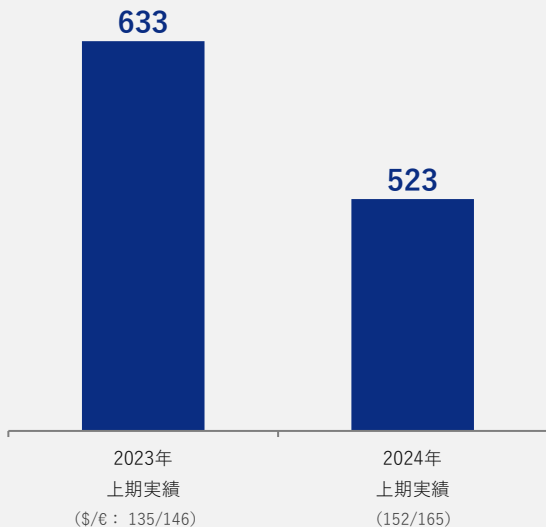
- 船外機は当初予想と比べ総需要は減少
- 生産調整および経費コントロールを継続

RV事業

- 実績：モデルミックスの悪化、販管費増加により減収減益
- 年間見通し：経費・生産調整実施も赤字見通し

営業利益率 **9.6%** **-12.9%**

売上収益 (億円)

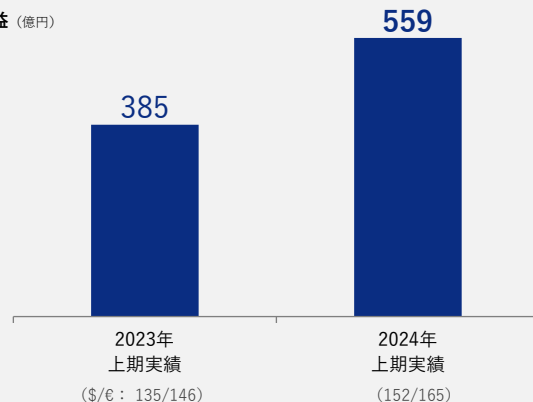


金融サービス事業

- 実績：債権増加により増収増益
- 年間見通し：金利収入増加・粗利率改善により、当初予想を上回る

営業利益率 **17.2%** **19.3%**

売上収益 (億円)



期末債権残高 (億円) **6,456** **8,233**

(内) 北米 (億円) **4,857** **6,228**

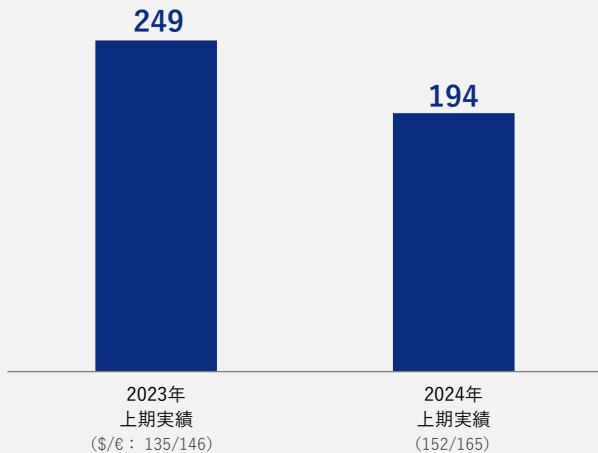
期末日レート (\$: 145) (161)

SPV事業

- 実績：在庫調整の継続、販売台数減少により減収減益
- 年間見通し：生産調整実施も在庫調整局面が続く赤字見通し

営業利益率 **6.6%** **-28.6%**

売上収益 (億円)

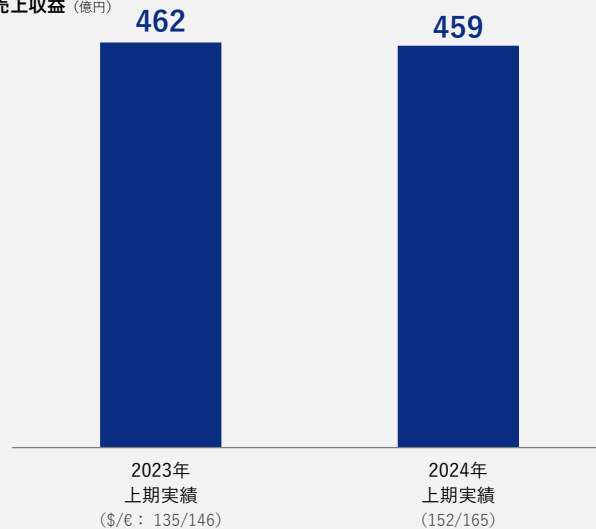


ロボティクス事業

- 実績：販売減、販管費増により減収減益
- 年間見通し：下期需要回復による販売増と経費コントロールにより黒字化

営業利益率 **1.0%** **-8.7%**

売上収益 (億円)





2024年上期 地域別台数・売上収益

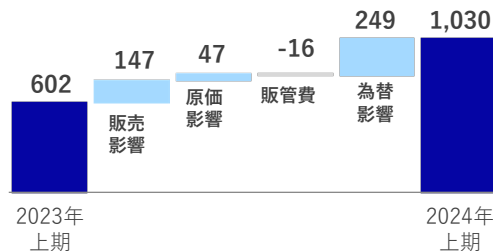
二輪車出荷台数

(千台)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
日本	38	36	95%
北米	45	51	113%
欧州	121	133	110%
アジア	1,961	1,908	97%
その他	297	363	122%
全社	2,462	2,491	101%

二輪車売上収益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
日本	235	217	92%
北米	417	561	135%
欧州	1,191	1,429	120%
アジア	4,128	4,402	107%
その他	1,122	1,635	146%
全社	7,093	8,244	116%

営業利益変動要因



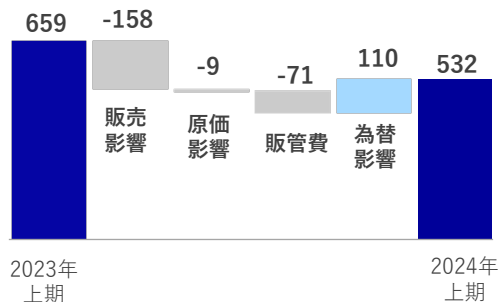
(\$/€) 2023年 (135/146) 2024年 (152/165)

2024年上期 地域別売上収益

マリン売上収益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
日本	160	207	129%
北米	1,876	1,758	94%
欧州	396	385	97%
アジア	204	231	113%
その他	353	396	112%
全社	2,990	2,977	100%

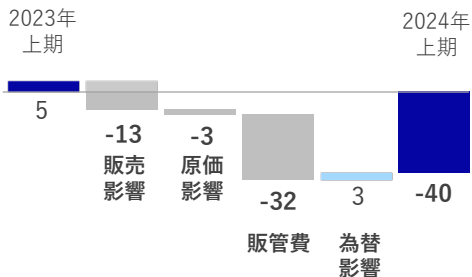
営業利益変動要因



ロボティクス売上収益

(億円)	2023年 上期	2024年 上期	前年比
日本	128	113	88%
北米	20	29	148%
欧州	50	30	61%
アジア	261	282	108%
その他	4	4	119%
全社	462	459	99%

営業利益変動要因



(\$/€) 2023年 (135/146) 2024年 (152/165)

財務状況

(億円)	2023年 上期	2024年 上期
営業活動によるCF	509	997
投資活動によるCF	-523	-697
フリーCF	-14	301
財務活動によるCF	130	-651

設備投資	378	456
減価償却費	333	411
研究開発支出 ^{※1}	519	612

(億円)	2023年 12月末	2024年 6月末
現金及び現金同等物 期末残高	3,470	3,381
有利子負債 ^{※2} 期末残高	8,438	9,255
ネットキャッシュ	-4,968	-5,873
ネットキャッシュ（金融サービス事業除く）	-226	78

※1 2023年上期は日本基準における研究開発費となります。

※2 有利子負債にはリース負債を含めておりません。

為替影響（対前年）

(億円)	上期実績（6ヶ月）				2024年当初計画			
	US \$	EURO	その他	合計	US \$	EURO	その他	合計
粗利益にかかる為替影響（本社）	146	80	26	252	-11	-22	2	-31
粗利益の換算影響（海外子会社）	75	50	137	262	-7	-12	70	51
販管費の換算影響	-69	-40	-41	-150	5	9	-38	-24
その他の換算影響	0	0	23	23	0	0	1	1
営業利益への為替影響	152	90	146	387	-13	-26	35	-4

(億円)	US \$	EURO	US \$	EURO
為替感応度				
1円の変動が営業利益に与える影響額		8	16	11

